

浜松市の事案に関する住民説明会（呉松町）の質疑応答等について

開催日時：平成19年6月23日（土）10：00～11：00

開催場所：浜松市西区呉松町 錬成道場

説明者：環境省、静岡県、浜松市

参加者：住民30名

配布資料：「平成19年度静岡県浜松市における詳細環境調査等業務（業務のあらまし）」  
説明会概要：説明会では浜松市の事案の経緯と環境省が実施する詳細環境調査業務について説明しました。詳細環境調査業務に関して主な質疑応答は以下のとおりです。

Q1：古い情報だが、終戦直後、海岸線に多数のドラム缶が流れ着いた。呉松町の住民の中にも、そのドラム缶の中身に触れて腕がびらんし、治るのに1カ月以上かかった人がいた。中身は、毒ガス剤の今の説明から、イペリット系ではなかったか。そういうことから、調査場所に毒ガス剤はあると思う。

当地は観光地であり、我々の住んでいる所でもある。慎重かつ適切な対応をお願いする。

A1：貴重なお話ありがとうございました。皆様にご心配をかけることがないように静岡県、浜松市とも十分に連携をとって適切に処理する。皆様のご理解とご協力をお願いする。

Q2：掘削の日は決まっているのか。

A2：7月下旬から8月初旬ということでまだ具体的には決まっていない。ただし、花火大会の日（7月28日と29日）以降となる。

Q3：日曜日は掘削するのか。

A3：日曜日は掘削しない。

Q4：道路規制はあるのか。

A4：掘削の日は、警察とも連携をとって市道（分岐）入口から立ち入り制限する予定。

Q5：今、工事はどこまで進んでいるのか。

A5：遊歩道のルート整備と現場の仮囲いまで終了している。

現場の状況写真で説明する。なお、今回、報道関係の方から具体的な場所がどこかということ聞かれるが、安全対策と地元への影響から、環境省としては公表しない考えである。ご理解をお願いしたい。

Q6：こういう呉松のような事例は全国にあるのか。

A6：環境省は平成15年から全国各所で環境調査を進めてきた。なお、掘削を伴う調査はこれが最後と考えている。

Q 7 : 今までに旧軍の毒ガス剤が埋められ掘削したような事例はあるのか。

A 7 : 過去には平成 14 年、15 年に平塚市や寒川町の工事現場で(毒ガス剤が)発見され処理された例がある。

Q 8 : 今回のような証言情報による事例ではどうか。

A 8 : 証言情報から重要個所 10 カ所を環境調査し、うち 2 カ所が掘削調査の対象。他の 1 カ所では調査の結果、毒ガスは発見されなかった。今回は、何らかの物体が出てくる可能性が高い。ただし、何が埋まっているかは掘ってみないと不明であり、仮にドラム缶が見つかったとしても中に毒ガス剤が入っているかどうかは調べてみないとわからない。

Q 9 : 埋めた人を特定することはしないのか。

A 9 : 昔のことなので、判らないのが実情。

Q 10 : 埋めたのは旧軍がやったことなのかそれ以外の人なのかわからないということか。

A 10 : ドラム缶が埋められたという目撃は昭和 25 年 9 月以降のことである。

昭和 20 年に旧軍が解散してから数年経っているので旧軍ではない。なお、被災の未然防止のため埋めたと思われ、当時としてはやむを得ない処置であったと考えられる。

Q 11 : 埋めた場所は国有地か、民有地か。

A 11 : 民有地である。なお、土地所有者の方には今回の調査を説明しご了解を得ている。

Q 12 : 民有地に許可なく埋めたものなのか。土地所有者は知らなかったのか。

A 12 : 今の土地所有者は、こういう事案があったことさえご存じなかった。また、証言情報は埋めた方ではなくそれを目撃した方のものであり、当時の事実関係がどういうものであったかは不明である。

Q 13 : 現場付近には釣りをする人や潮干狩りをする人がくるが、現場と海の安全は確認されているのか。

A 13 : 平成 17 年と 18 年の 2 回、埋めたと思われる場所で地表大気と土壌の環境調査を実施した結果、毒ガス成分は不検出であった。もし今回毒ガス入りのドラム缶が見つかったとしても、現状はそれが環境中に出ていることはない。

Q 14 : 毒ガスが海に捨てられたということを聞いたことがある。また昔のことでよくわからないが、海に浮かんできたドラム缶に泳いでいた子供がさわってけが(糜爛)をしたという噂も聞いたことがある。海に捨てられた毒ガス剤が底に沈んで残っていることはないのか。海水の調査はしたのか。

A 14 : 今回調査は埋めたという証言情報に基づく環境調査であり、海は調査していない。

Q 15 : 毒ガスを海に捨てたという情報もある。間違いのない事実と思われるので、それも情報の 1 つとして、安全性のために海の調査も行なって欲しいと思う。呉松町民として要望する。

A 15 : ご要望として承り、持ち帰る。

Q16: このことについて市の考えはどうか。浜名湖の安全のことは浜松市の中のことなのでとくに聞く。

A16: (浜松市) 市単独の対応は困難であるが、地元の要望として持ち帰り、今後どう対応させていただくか検討して自治会長にお伝えしたい。

補足説明したい。浜名湖の水質調査は県と市で定期的に行っている。その中の項目に毒ガスの成分のヒ素があるが、これについてはこれまで検出されたことはなく、毒ガスについては安全と考えている。ただし、毒ガス成分そのものの調査は行っていない。

以上

浜松市の事案に関する住民説明会（舘山寺町）の質疑応答等について

開催日時：平成19年6月23日（土）13：30～14：00

開催場所：浜松市西区庄内町 庄内公民館

説明者：環境省、静岡県、浜松市

参加者：住民41名

配布資料：「平成19年度静岡県浜松市における詳細環境調査等業務（業務のあらまし）」

説明会概要：説明会では浜松市の事案の経緯と環境省が実施する詳細環境調査業務について説明しました。詳細環境調査業務に関して主な質疑応答は以下のとおりです。

Q1：仮に埋設物から毒ガスの成分が見つかった場合のスケジュールはどうなるのか？

A1：一時保管と無害化処理を行い、撤去・原状回復を平成20年3月末までに行う。

Q2：昔、掃海した時、知人が海で毒ガス剤によりヤケドをした。

A2：情報提供ありがとうございます。

Q3：処分した場所は海の中と聞いていたが、今日の説明では山の下の箇所か。場所を確認したい。

A3：安全管理上の問題があるため具体的な場所は公表はしないこととしているが、海の中ではない。

Q4：子供の時の話だが、捨てたあと海から流れ着いたものが1本あった。その時の1本が埋められたと思う。

A4：情報提供ありがとうございます。

Q5：よく、現場付近に釣りに来るのだが、現在は遊歩道に入れるのか。

A5：作業車が通っているのでなるべく遊歩道への進入はご遠慮願っている。遊歩道入り口に警備員が付き誘導している。

Q6：埋設物は爆発物ではないとのことだが、それは最初海に捨てられたものが流れ着いて埋められたものなのか。

A6：情報は、埋めるのを目撃したということだけで詳細はわからない。なお、埋設物は、事前の物理探査によって小型ドラム缶様のものが推測されている。

以上